



朝日中 道徳だより

第2号
平成28年7月4日(月)
朝日中学校道徳研究推進委員会

「我が子」は『笑顔』？

朝、我が子が家の玄関を出るときの「行ってきまーす。」の声のトーン。帰ってきたときの、「ただ今〜。」や、帰宅した家族に掛ける「お帰りなさい〜い。」の声の大きさ。夕飯の時の食欲、そして子供が話す『学校のこと』。我が子が明るくて元気だと、本当に嬉しい。ましてや笑顔が見られると、(いえいえ、百歩譲って不機嫌そうじゃないと) ホッとする。・・・同じお気持ちの方は多いのではないのでしょうか。

昨年、小・中学生をもつ保護者に対して実施されたあるアンケートによると、「お子さんの学校のことで気になることは何ですか。」という問い(複数回答可)に対して、一番多かったのは、『友達関係(89%)』。次いで、『進路・成績(82%)』、『部活動(57%)』、『スマホなどの利用の仕方(43%)』、『通学時の安全(35%)』という結果が報告されています。

実際、生徒にとっても学校生活の中で大きなウエイトを占めるのは、『友達関係』と『部活動での先輩・後輩の上下関係』のようです。学校という限られた世界の中に身を置いている生徒にとっては、これら二つの関係がうまくいかどうかによって学校生活が大きく左右されることは事実ですし、それが成績や健康にまで影響を及ぼすことも少なくありません。

我々大人は、それなりの時間をかけて多くの人と付き合い、自分のことも理解し、また自分以外の人のいろいろな面を知り、時には悩みながらも多くのことを学んで、多面的にものごとを考えられるようになってきていますが、中学生に同じことを期待するのは難しいことです。それは、自分の中学生時代を思い出せば、誰しも心当たりがあるというもの。大人にとっては「誰もが経験するよくある悩み」も、生徒一人ひとりにとっては「誰もわかってくれない悩み」に思えてしまうことも多いようです。

また、私たち教師もこれまでいろいろな生徒に接してきてはいますが、様々に異なる経験をもつ生徒一人ひとりを真に理解するということは容易なことではありません。

それでも、私たちは保護者の皆様と心を合わせ、生徒にとってこの朝日中学校での毎日が楽しく意義深いものとなるよう、できる限り生徒一人ひとりの心情に寄り添い、日々の支援に努めて参りたいと思っております。

お子さんの顔が明るい真の『笑顔』となりますよう、今後ますます連携を深めてまいりましょう。



『悩み』は誰に相談する？

中学生の回答は、

- 友達 66%
- 親 45%
- 兄弟・姉妹 25%
- 誰にもしない 18%

ある時は、悩み・ストレスの原因。またある時は、大切に頼もしい存在。

そんな「友達・友情とは何か?」。ましてやそれに『真の』という言葉が加われば、即答するのは大人でも難しいのではないのでしょうか。『相手の成功を心から喜ぶかどうか』がその定義だと言う人もいますが、皆さんは、どうお考えですか。

授業実践より

7月1日 1年1組「アキラの選択」(担任:寺岡 孝典)
(あかつき 中学生の道徳1「自分を見つめる」より)

授業のテーマ・主題は、「友情・信頼」。資料には、幼なじみのアキラとリョウタという二人の中学一年生が登場します。小学校からの友人関係に固執して、リョウタと行動を共にすることで「友達」である実感を維持していきたいアキラと、部活やクラスでも新しい人間関係を構築しつつあるリョウタ。二人の関係を通して「友情」とは何かを考え、自分の『友情観』を見つめ直しました。



☆ 真の友情は、信じ続けることだけではないと思う。相手と合わせていたりしても、いつかは意見の食い違いが出てきて、喧嘩したりする。それでも友達でいられるのが、真の友情だと思う。その『真の友情』は、とてもレベルが高いけれど、いつかそう思える友達ができると思う。

生徒の感想より

☆ ただ単に、一緒に笑い合ったりするのが真の友情なのではなくて、傍にいても相手と信じ合ったり、お互いのことを考えられることが『真の友情』なのではないかと思った。
また、相手のことを考えすぎて、自分もそれに合わせるのは少し違うような気がした。

☆ 「友情・親友」という言葉

は、よく口にする。でも、自分の友だちとはそんな関係?と聞かれても、今は「はい!」と、100%は言えないかもしれない。そう考えると、人との関わりというのはとても難しく思ってしまう。それでも、僕の友だちは僕のことを考えてくれているし僕も考えている。その関係をこれからも大切にしていきたい。



地域の方より



※子供達の考え方・思いをもう少し聞いてみたかった。授業を受けている態度は良かった。
※子供達の思いと大人の思いの違いをどう伝えれば・大変勉強になりました。
※友情について、子供達には子供達なりの考えがあって、しっかりしている様に思いました。親友とは、心のままに痛いことも言い合える仲だと思えます。一朝一夕に親友は出来ないと思っています。皆さん親友を作って下さい。
※子供たちは真剣に取り組んでいるので感心しました。見ていてかわいくて、何事もほほえましく見ていました。本当の友達、『親友』についてこんなに考えたことはありませんでした。この年になって、あの人は?この人は?いろいろな友の顔が浮かんできました。ただどの友も、今の自分を飾らなくてもいいので楽に付き合えるし、又、友が悲しんだり苦しんだりしているときはそっと寄り添える関係だと、今更ながら思いました。